



まなびや

東市ケ尾



わがまち市ケ尾の皆様を支えていただく ヒガイチで

校長 後明 好美

春を迎えた校舎に、新学年に進級した子どもたちの元気な声が響き渡りました。令和4年度がスタートしました。新たな職員を迎え、地域の皆様と御一緒に子どもの育ちを見守り支える東市ケ尾小学校の校風を大切に、子どもたち、地域の皆様のために精一杯努力してまいります。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

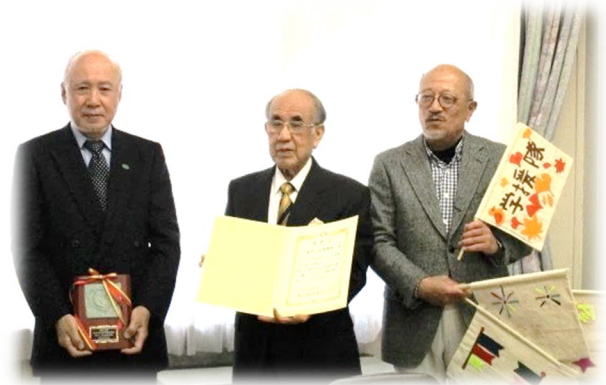
保護者の皆様におかれましては、お子様の御入学・御進級、おめでとうございます。今日、102名の新入生を迎え、全校児童が538名となりました。本年度も子どもたちがこのヒガイチに安心して集い、友達や多くの人との関わりの中で学び合い、共感し合い、自分の成長を実感できる学校生活を送ってほしいと願っています。

「本当に ほこりに思います。」という一言から

昨年度末、下市ケ尾町内会様と中市ケ尾自治会様が連携して実施してくださっている学援隊と国際交流教室の取組に対して、教育委員会表彰がされました。2つの町内会自治会様が協働で「子どもたちのために」と実施してくださっている取組が評価されての受賞です。受賞の知らせに、とてもうれしい3月末となりました。

子どもたちも、地域保護者の皆様に温かく見守っていただいていることをしっかりと感じており、昨年度の6年生は家庭科学習の中で、学援隊のみなさんに感謝の気持ちを伝えようと、手紙を書いたり小物製作を行ってプレゼントしたりしました。右の画像にあるのはその製作物のひとつで、四季折々のアップリケがされている4本の旗です。季節ごとに朝の見守りの時の旗を変えて使っていたらという、子どもたちの素敵なアイデアが盛り込まれています。

次のような手紙を贈った子もいます。



教育委員会表彰を受賞された
元市ケ尾連合自治会長 柏村茂様 (写真中央)
下市ケ尾町内会長 蕪木泉様 (写真左)
中市ケ尾自治会長 西川和彦様 (写真右)

『(前略)・・・(学援隊の方々) いつも「おはようございます。」と教えてください。学校があるときはいつもそうです。雨の時は大変ですが、かさを持ちながら・・・。自分は大変なのにすごいと思います。また、国際交流では毎年出席してください、僕たちのために準備してくれて、ありがとうございます。本当にほこりに思います。・・・(後略)』

雨の日も暑い夏の日も、毎日まちに立って見守ってくださったり、様々な場面で学習へのサポートをしてくださったりしている地域・保護者の皆様の気持ちをしっかりと受け止め、そのみなさんがいらっしゃる地域の一人として「誇りに思う」と表現しているこの子が、まちの温かさを基盤に育っていったことがわかります。市ケ尾のまちが子どもたちをよりよく育ててくださっているのだと改めて思うとともに、本年度もそのお力をお借りしながら、子どもたちとヒガイチを一層充実させていきたいと考えています。

最後になりますが、この春、本校を離任された8名の教職員の皆様に感謝を申し上げます。東市ケ尾小学校の子どもたちのために、長きにわたり熱心に御指導、御支援をいただき、本当にありがとうございました。新しく東市ケ尾小学校の一員になった教職員も力を合わせて、わがまち市ケ尾を愛する子どもの育成をめざして努力していきますので、引き続き御理解と御支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。